

グローバルな まちを目指して

鹿嶋市国際交流協会会員
草野 マリーさん(棚木)



▲草野マリーさんと英会話教室の生徒達

鹿嶋市に来たきっかけ

私はフィリピンのマニラで生まれ、両親は私を厳しい世の中を自立して生きていける強い女性になれるように育ててくれました。特に一人旅をすることをすすめてくれました。日本でいう「かわいい子には旅をさせよ」ですね(笑)

フィリピン国立大学へ進学し、広告について学び、卒業後はコピーライターとして働きながら、フィリピンの多種多様な民族のいる村を旅していました。あるとき、青年海外協力隊としてフィリピンを訪れていた一人の日本人男性と出会いました。私達は意気投合し、二人で仕事の合間に一緒にいろいろなところを旅した後、結婚しました。夫がオーストラリアに留学し、JICA（国際協力機構）の職員になり、サウジアラビアやマレーシアなどの5か国で合計13年間暮らしました。日本国内では長野、福島、埼玉、東京に暮らして計15回の引越しをしました。

そして、自分達らしく残りの人生を過ごすための“終の住み処”として、安全・安心な日本の田舎、広く青い空と穏やかなお天気、温かい住民のいる鹿嶋市を見つけ、2016年に

移住を決め、鹿嶋市で、第2の人生をスタートさせました。

英会話教室の活動について

世界各国を拠点に暮らしていたころから、その国に住む日本人の子どもにも英語を教えたり、日本に帰ってきてからも小学校でALTとして勤務したりしていたので、鹿嶋市で自分の今までの経験を生かし、子ども達に英語を教える活動をしたいと思っていました。

まず、最寄りの公民館である大野公民館で『小学生を対象とした英会話』という内容でボランティアをしたいと相談しました。おかげさまで現在は、週に2回、子ども達が楽しみながら学べることを大切に英会話教室を行っています。子ども達が英語を学ぶことによって、自信を持つことができ、視野が広がることで、夢が大きく広がります。子ども達の成長を感じながらこの教室を行うことが私の生きがいになっています。また、国際交流協会にも加入しました。フィリピン国籍の小学生の勉強のお手伝いをしたり、通訳の依頼があったり、外国人の日本語スピーチコンテストや「て～ら祭」等

のイベントにも参加したり、公民館で活動することで少しずつ親しい人が増えて、いろいろな楽しい活動ができるようになっていきました。

オリンピックに向けて

東京2020オリンピックでは鹿嶋市にたくさんの外国人がやってくるでしょう。鹿嶋市が世界に知られ、まちが元気になれる最高のチャンスです。私は、小学校で子ども達のオリンピックに向けたおもてなしの英会話等でお手伝いできることがあればしていきたいと思います。

オリンピックで鹿嶋市を訪れた外国人との出会いを大切に、おもてなしをするために、助け合って、世界に開かれた鹿嶋市を目指しましょう。



▲9月29日に開催された令和元年度前期市民カレッジおもてなし英会話講座の様子

PROFILE

■草野 マリー
鹿嶋市国際交流協会会員
出身：フィリピン、マニラ
趣味：機織り、刺繍、陶芸、絵手紙
好きな言葉：グローバル



▲子ども達が楽しく学ぶ英会話教室の様子



▲子ども達を指導する草野マリーさん



CONTENTS

- 2 地域コミュニティについて考える
まちづくり講座開催
- 2 オリピック・パラリンピックブース紹介
(波野公民館・はまなす公民館)
- 3 市民センのひろば ほか
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊
豊津地区「わらアートクラブの活動」
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「鹿嶋市国際交流協会会員 草野マリーさん」



◆地域コミュニティについて考える◆ まちづくり講座を開催

～コミュニティの現状・課題と将来像の共有に向けて～

少子高齢社会の進展や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域コミュニティを取り巻く環境は大きく変化をしています。そして、このような変化に対応しながら、互いに支え合える地域の絆を育み、安全・安心で心豊かに生活をしていくための地域コミュニティの在り方が大きな課題となっています。

そこで、まちづくり市民センターを会場に、「市民の学びとまちづくり活動を推進するコミュニティプランの策定に向けて」をテーマに、10月から12月にかけて3回の「まちづくり講座」が開催されました。この取り組みは、まちづくり連絡協議会が中心となって、昨年から取り組んでいるオリンピックレガシー事業やおもてなし活動を考える活動によって見えてきた、地域の魅力や課題の解決にアプローチしていくための活動などをプランに盛り込み、住み良いまちづくりを推進する市民活動を検討していこうとするものです。



▲ワークショップでの熱心な意見交換

講座には、各地区まちづくり委員会委員や行政委員、各種団体関係者に加えて、公民館職員やプラン策定地区に居住する市役所職員など約130名が参加し、常磐大学の砂金(いさご)先生、佐々木先生の講義と小学校区ごとに分かれてのワークショップ形式により、プランについての学習会が展開されました。

来年2月2日には、「まちづくり市民大会」で講座の成果報告がされ、令和2年度からの各地区における本格的な策定活動に向けての情報共有が図られる予定となっています。



▲コミュニティプランについて学ぶ参加者

東京2020オリンピック・パラリンピックブース紹介

波野公民館

子ども教室に通う子ども達によって作成された、国旗や絵によって館内が彩られています。

オリンピックについて、本等を参考にしながら子ども達が話し合い、国旗を作成することに決めました。オリンピックに興味を持って、子ども達は楽しそうに作成していました。



▲波野公民館内の様子



▲子ども教室の様子

はまなす公民館

はまなす公民館地区まちづくり委員会を中心に、はまなす地区のボランティアの方々で共同で作成した五輪マークの折鶴や、2020のペーパーフラワーに彩られたパネルが展示されています。

折鶴にはオリンピックの成功を願う思いが込められています。



▲館内の展示パネル



▲地域のみなさんの手作りパネルです

利用しています!! 市民センのひろば



ギタークラブ アルベジオ
田原 義夫さん(港ヶ丘)
たはら よしお

同じ趣味を持つ仲間が集まりクラシックギターを弾いています(童謡・歌謡曲・クラシック等)。興味のある方は一緒に楽しみませんか。



かしま灘楽習塾
「演歌だよ、楽しく歌おう」講師
川島 有紀さん(行方市)
かわしま ゆき

歌を通して生徒さん相互の親睦を深め、今年で11年目になりました。これからも心のビタミン、健康のために一緒に学びます。



たまてばこ代表
新堀 浩司さん(鉾田市)
にいほり こうじ

鹿行地域を中心に演劇活動を行っています。気の合う仲間達とともに、楽しみながらも真剣に活動させてもらっています。

地域レポート



まちづくり探検隊 (vol.23)

～稲わらで制作するオブジェが大人気～
『わらアートクラブの活動』



▲今年のわらアート作品

豊津公民館の駐車場に入ると、ドラえもんをモチーフに稲わらで制作された巨大なオブジェが姿を現します。この作品を制作したのは、青木金司さんが代表を務める豊津地区の『わらアートクラブ』の皆さん。

今回で4作目となる制作活動の始まりは、高齢者の居場所づくりの一環であるサロン友結(ゆうゆう)の活動内容を検討する中から誕生したとのこと。クラブのメンバーである今泉富司さんによると、「サロンに集まってお茶を飲むだけでなく、何かできないものかと活動を検討する中で、サロンの仲間に、“道の駅くりもと”の案山子(かかし)祭に参加して、優秀賞を受賞した経験を持つ方がいたことなどもあり、田園風景が広がり、稲作が盛んな豊津地区ならではの活動として取り組んでみることにしました。」とのこと。

4年前に第1作目の“牛と牛を引く親子”を制作し、以来、2作目は“トトロ”、3作目は“ねこバス”、4作目が今年展示中の“ドラえもん”をモチーフにした作品となっています。制作方法について何うと、「常陸大宮市の案山子祭の見学や、会員の経験を生かして見様見真似で制作しています」とのこと。材料となる稲わらは、地元の農家さんに分けてもらい、天日で乾燥させ、すぐりわらにして材料とするそうで、制作に至るまでにも手間がかかっています。

作品のモチーフについては会員の中で意見を出し合い、制作が始まるのは10月中旬で、11月に開催される豊津公民館まつりに間に合わせているそうです。展示された作品はSNSなどで発信され、遠方からの見学者もいるほど見ごたえのある出来栄です。

今後の活動については、「コマ作りの体験活動をしている豊津の子ども達が、稲わらで人形等を制作するコンテストなどを開催できたら良いですね。」と話す今泉さん。今後の活動の広がりが楽しみです。



▲制作中の様子



▲わらアートクラブの皆さん
(左から青木、根本、本宮、今泉、藤枝)

掲示板

令和元年度後期市民カレッジ 「新たな発見!折り紙の世界」 受講生募集

近年、海外からも注目されている日本の伝統文化である折り紙を学び、来年の東京2020オリンピック開催時に、折り紙の体験教室や折り紙のプレゼントをして外国人来訪者の方をおもてなししませんか。

日時	テーマ	内容
令和2年 1月25日(土) 13:30~ 16:30	【誰でもすくじでできる簡単折り紙】	・折り紙の歴史を学ぶ ・誰でも簡単にできる手裏剣やだるまなどの作成
令和2年 2月15日(土) 13:30~ 16:30	【外国人来訪者へのプレゼント折り紙】	・外国人来訪者にプレゼントする折り紙を作成する
令和2年 3月14日(土) 13:30~ 16:30	【みんなで大きな折り紙作品を作ろう】	・一人一人が作ったものを合わせてできるような立体的なくす玉や星等の大きな作品の作成

- 講師 かしま灘楽習塾 藪谷 邦宏 氏
- 対象 市内在住・在勤・在学の方
(5歳~※小学生以下は保護者同伴)
- 定員 30名(申込多数の場合抽選)
- 参加費 実費負担あり(材料費)
- 募集締切 令和2年1月10日(金)
- 申込方法 下記窓口で直接申込むか、TELまたはFAX(氏名・性別・年齢・住所・電話番号を記載)
【申込先】鹿嶋市まちづくり市民センター
〒314-0031 鹿嶋市宮中4631-1
TEL:83-1551/FAX:83-1553
(受付時間9:00~17:00 ※月曜休館)